

追手門学院大学

第 53 号 平成13年10月25日

発行者 〒567-8502  
茨木市西安威2丁目1番15号  
追手門学院大学校友会  
会長 小坂井 俊夫

SINCE 1966

校友会会報

OTEMON GAKUIN UNIVERSITY

TEL 0726-43-6135  
FAX 0726-43-6099  
編集 川端 敬三  
印刷 (株)廣済堂

## 第四代会長に

## 小坂井俊夫氏

九月三十日の

本会理事会で

決定しました

第四代会長に小坂井俊夫  
会長が選出されました。

小坂井俊夫さんは、昭和  
四十六年、一九七一年に、  
母校経済学部・経済学科を  
卒業し、現在は、カネボウ  
化粧品関西販売株式会社の  
業務部課長を勤め多事多端  
の毎日を送っております。

大学祭「將軍山祭」には  
阪神百貨店の外商部部長の  
辻村龍彦さん（経経一期）  
と共に、毎年多くの品物を  
寄贈されています。

新会長挨拶文は次の頁に  
掲載しています。

会長決定の詳細は、本紙  
の三頁から「議事録」を掲  
載していますのでご参考に  
なさってください。

## 第三十五回 將軍山祭

日程

十月一日(木)

第三十五回 体育祭

十月二日(金)

音夜祭

十月三日(祝)

学生プロレス

イルミネーションショー「蜚」

十月四日(日)

ゲスト・コンサート

フリーマーケット

追手門縦断ウルトラクイズ

イルミネーションショー「煌」

## ホーム

## カミングデー

十一月三日、正午より  
学生食堂で開かれます  
主催は追手門学院大学

## 大学創立三十五周年

## 記念式典を挙行

十一月十日(土)十時

記念講演 堀場雅夫氏

会場 帝国ホテル大阪

お問合せは大学総務課  
〇七二六―四一九六〇八

現在の校友会員の総数は

正会員は、三三、三九七名。

特別会員は、五五六名。

正会員とは大学、大学院  
を卒業、修了した会員。

特別会員は母校の教職員  
およびその退職者。



# 会長就任のご挨拶

小坂井 俊夫



この度、追手門学院大学校友会の第四代会長に就きました小坂井俊夫でございます。

第三代会長佐藤良和氏のご決断とご推薦を受け、本会理事会のご賛同を得て、就任致すこととなりました。

責任重大な会長職を私のような、浅学非才な者が、その責め

を果たせるのかと誠に心中忸怩たるものがございますが、お引受けしたからは、校友会会員皆様のご期待にお応えするため、先輩の会長、役員の方々、関係諸兄姉の皆様からのお声を大切にお聴きし、執念を持って、本会発展の推進に努めたい、と念願しております。何卒、よろ

しくお願い申し上げます。昭和四十六年、私は母校を卒業し、はや、三十年が経過致しました。この間、母校を卒業されました三万人余の校友会会員の方々には世界の国々や日本国内、至る所で活躍のすること、ご拝察申し上げます。

校友会の最大の使命とはご卒業後の校友会員の動向把握による校友会会員名簿原簿を確実に整理する事と「校友会報」の発行による会員各位の、親睦と信頼を築き上げ、母校の発展に、寄与することであろうかと考えております。

また、お預かりしている終身会費を保護し、適切に活かしながら本会の活動を活性化することではないかと考えております。今、東京、中四国、九州、東海に、本会の支部が在ります。もっとと会員相互の、ネットワークを拡げ、つながりを深め、校友会会員のお一人お一人が、校友会の諸活動に参画し、一生涯に亘って楽しめる団体に成ることができないか、と考えています。これからは校友会会員の皆様から、数々のお便りを頂戴し、皆様のご様子やご活躍のお姿を会報に掲載し力強い組織に発展すればと望んでおります。

どうか、卒業したばかりだとか、昔のことだ、と、お考えにならずに、母校と校友会の伸展のために、校友会の活動にご参加下さりまた、「校友会報」へのご投稿等お力添え下さいますようにお願い致します。

最後に校友会会員各位のますますのご清祥ご発展を祈念し、第四代会長就任のご挨拶にさせていただきます。

(昭和四十六年・一九七一年、経済学部経済学科卒業)

## 平成十三年度 議事録

■六月十七日(日)

午前十時より

### 新評議員会

出席者 岩崎・大橋・川端・小坂井・佐藤・下村・関・辻川・鶴・中川・平野・福井・淵上・松永・美濃岡・森・藻川・八木(敬称略・五十音順)以上十八名と委任状十三通

平野昌雄会長の招集による新評議員会は、六月十七日中川賢幸(中四国支部長・理事)と岩崎陽一(九州支部長・理事)を議長にお願いする旨、平野昌雄会長より新評議員会に計られ、満場一致で承認されました。続いて平野昌雄会長は新理事(大橋・川端・小坂井・佐藤・佐々・下村・関・平野・福井・淵上・森氏らの十一名)を推薦。十一名の新理事が、これも満場一致で承認されました。

### 第一回新理事会

前述の理事が別室で、新

理事会を開催致しました。出席者 岩崎・大橋・川端・小坂井・佐藤・下村・関・中川・平野・福井・淵上・森(敬称略・五十音順)

理事会は校友会会則第九条、一項に従い、新理事会が、中川賢幸・岩崎陽一両議長の下で新会長の選出を行いました。福井教男理事が、佐藤良和理事を会長に推挙、続いて、下村忠功理事も福井理事に同調しました。

大橋陽一理事と小坂井俊夫理事は平野昌雄前会長の統投を求めました。その後、話し合いが行われ、新会長に推挙された当事者の二人は会議の席から外され、話し合いが進められました。関謙二理事が無記名投票を提案。提案は採択され投票により会長を選出することとなりました。

関謙二理事は更に、議長を務めていた中川・岩崎両氏に投票に加わるように説得しました。両氏は、議長であることを理由に投票することを拒みましたが、関謙二理事の再度の説得に応じて投票しました。投票総数は十二票。開票結果、過半数の票を、

■七月十五日(日)

午前十時三十分より

### 第二回理事会

出席者 佐藤良和理事が得、新会長に選出されました。理事会は、直ちに新評議員会に戻り、以上の結果を、発表しました。新評議員会は誰一人の反対もなく満場一致で新会長を認めました。

出席者 大橋・川端・小坂井・佐藤・下村・関・平野・福井・淵上・森の以上十名(敬称略・五十音順) 委任状二通(一つは榮譽理事の宮本正仁氏)

議長に小坂井俊夫氏を選び理事会を開催しました。議案は、一、役員の決定。前回の新理事と新評議員会の決定に従い次の通り了承されました。

会長 佐藤良和  
副会長 大橋陽一・小坂井俊夫・下村忠功  
常任理事 宮本正仁  
常任理事 平野昌雄 福井教男 淵上嘉彦  
理事 関謙二 森嘉一 川端敬三 口村一郎(東京

### 合同役員会

午後一時より

出席者 佐藤新会長・大橋・小坂井・下村副会長・平野・福井・淵上常任理事・関・森・川端理事・鶴・蟻柴・吉田・宮本(幸)・井上・川崎・野出・藻川の評議員。以上十八名と委任状十三通

議長は小坂井俊夫氏。冒頭、鶴毅評議員が、緊急動議を提出。その提案説明を聞き、多くの評議員が議論を展開しました。また、蟻柴潤一評議員も動議を提出。緊急動議の提案をめぐり、長時間、

論議が紛糾しました。最後に、二つの動議は取り下げられて、次の事項が採択され、閉会しました。

一、井上品子評議員と吉田浩幸評議員の申し立て(六月十七日開催の新評議員会の案内通知が届かなかつた)を信じ、両氏から郵送による、理事推薦を受け付けることにしました。期間は七月十九日の土曜日まで、という異例の措置を決めました。

二、緊急動議の提案理由などを勘案し、第一回理事会と第二回理事会の決定事項について、理事会が再考することとなりました。

■八月十九日(日)  
午前十時三十分より

### 第三回理事会

出席者 佐藤会長・大橋・小坂井・下村副会長・平野・福井常任理事・関・佐々・川端理事の以上九名と委任状六通

議長を佐藤会長と小坂井副会長が担当。



予算案」を改めて検討。  
本紙の7ページに掲載して  
おりますように確認、決定  
しました。  
以前の予算書と違うところ  
は、  
① 支部援助金を十万円  
から二十万円とする。  
② 国際交流を五十万円  
から三十万円にする。  
③ 予備費二十万円を、  
三十万円とする。

議題の七  
川端敬三理事に「会報編  
集」のお手伝いをお願いし、  
川端理事の了承を得た旨、  
確認、決定しました。

議題の八  
校友会地域支部長の本会  
理事としての取り扱いにつ  
いては、会則改正に伴うも  
のであるから、次回以降に  
審議する事を確認しました。

議題の九  
監事選定に関する件。  
早急に監事2名の選定を行  
う必要のある事を確認。

次回の第五回理事会を、  
九月三十日午前十時三十分  
より開催する事を申し合わ  
せて散会しました。

今後、本会会長・副会長  
の役職にとらわれず、適任  
者を推挙するものとする  
決まりました。

議題の四  
会長禪譲について。  
佐藤会長は、諸般の情勢  
を考え、会長を小坂井俊夫  
副会長に譲る旨の申し出が  
あり、全員了解しました。  
副会長の欠員により、佐々  
理事を副会長とし議長を担  
当して頂くことになりました。  
以上を次回の理事会で  
確認の上で発効することの  
申し合わせをしました。

議題の五  
以上の討議によって新執  
行部は次のような新体制を  
組織することになりました。  
第四代会長

小坂井 俊 夫氏  
顧問 佐藤 良 和氏  
顧問 関 謙 二氏  
副 会 長 平 野 昌 雄氏  
副 会 長 大 橋 陽 一氏  
副 会 長 佐 々 進 一氏  
副 会 長 下 村 忠 功氏

■九月三十日(日)  
午前十時三十分より  
第五回理事会

出席者  
小坂井会長・佐藤・関顧問・  
佐々・下村副会長・福井・  
淵上常任理事・平野・蟻柴・  
森・川端理事・以上十一名。  
委任状は、五通。

議題の一  
顧問就任の件。  
関謙二氏が受諾されまし  
たので承諾しました。  
平野昌雄氏は受諾されな  
かったので理事のままに、  
なりました。

議題の二  
監事二名の選出について  
は会長、副会長から提案が  
あり、  
村井秀郎氏(経営五期)  
阿部敏夫氏(経経七期)  
を推薦されました。全会一  
致で承認しました。

議題の三  
森嘉一理事より吉田浩幸  
評議員を理事にしたいとい  
う推薦があり、理由をお聴  
きした結果、吉田浩幸氏を  
次回の理事会より出席して  
いただくことになりました。

議題の四  
十一月三日、大学主催で  
開催されるホームカミング・  
デーについての積極的な協  
力について、次回の理事会  
で討議することになりました。

次回、第六回理事会は今  
月十二日(金曜日)午後七  
時より開催すると決まし  
た。

最終決定した役員一覧  
(敬称略・括弧内は卒業期)

第四代会長 小坂井 俊夫  
(経経二期)  
顧問・事務局長 佐藤 良和  
(院文心二)  
顧問 関 謙二  
(経経一期)  
副会長・総務 大 橋 陽一  
(経経二期)  
副会長・議長 佐々 進一  
(経経四期)  
副会長・事業・国際交流 下 村 忠功  
(経経六期)  
常務理事 宮 本 正仁  
(文英一期)

常任理事 福 井 教男  
(経経三期)  
淵 上 嘉彦  
(経経十一期)  
理 事 平 野 昌雄  
(経経一期)  
鶴 毅  
(経経一期)  
森 嘉一  
(経経七期)  
(会報担当) 川 端 敬三  
(経営十二期)  
東京支部長 口 村 一郎  
(文心七期)  
中四国支部長 中 川 賢幸  
(文心二期)  
九州支部長 岩 崎 陽一  
(文東六期)  
東海支部長 高 井 郁子  
(文心九期)  
監 事 村 井 秀郎  
(経営五期)  
阿 部 敏夫  
(経経七期)  
評議員 辻 川 義弘  
(経経一期)  
春 名 弥生  
(文心五期)  
岡 本 久子  
(文東六期)

美濃岡 伸也  
(経営七期)  
宮 本 幸治  
(文英七期)  
井 上 晶子  
(文社八期)  
川 崎 昭一  
(文心八期)  
藻 川 芳彦  
(文社八期)  
八 木 彰彦  
(経経八期)  
大 塚 武史  
(経経十一期)  
野 出 靖宏  
(経経十四期)  
内 田 憲博  
(文心十六期)  
安 部 勝  
(経経一〇期)  
松 永 光章  
(文東二期)  
東 泰孝  
(経経二期)  
旭 徹雄  
(経営五期)  
栗 田 喜勝  
(文心七期)  
竹 田 優  
(経経十一期)  
九州副支部長 山 崎 健一  
(文心八期)  
以上、九月三十日に決定

議題の一  
(前回の合同役員会で採択  
された一)について井上晶  
子・吉田浩幸両評議員から  
郵送による理事推薦(井上  
評議員が鶴毅氏を吉田評議  
員は蟻柴潤一氏)があつた  
ことが報告されました。  
理事会はそれを了承し、両  
氏に理事として活躍して頂  
くこととなりました。

議題の二  
校友会の将来を考え、組  
織の有様を検討。  
① 本会の会長経験者に  
は、顧問として校友会  
の適正な運営に対する  
助言をお願いする。  
② 顧問は、常任理事扱  
いとする。  
③ 顧問の人数は若干名  
とするが、5名程度が  
望ましい。  
④ 以上を、校友会内規  
とする。  
⑤ 内規の発効は、平成  
十三年九月二日とする。  
以上の内規の発効を待ち、  
関謙二・平野両氏を顧問に  
お願いすることにしました。

議題の三  
本会から学校法人追手門  
学院への学校法人理事・評  
議員の推挙について。

常務理事 宮 本 正 仁氏  
常任理事 福 井 教 男氏  
常任理事 淵 上 嘉 彦氏  
理 事 鶴 毅 氏  
理 事 蟻 柴 潤 一氏  
理 事 森 嘉 一氏  
理 事 川 端 敬 三氏  
理 事 東京支部長 口 村 一 郎氏  
理 事 中四国支部長 中 川 賢 幸氏  
理 事 九州支部長 岩 崎 陽 一氏  
理 事 東海支部長 高 井 郁 子氏

議題の六  
次回の理事会を来る九月  
二日(日)午前十時三十分  
より開会することとしまし  
た。

■九月二日(日)  
午前十時三十分より  
第四回理事会

出席者  
佐藤会長・関・平野両顧問・  
大橋・小坂井・下村副会長・

議題の二  
前回の理事会で提案確認  
された校友会の将来を考え  
ての組織の有様に関する  
内規を、次のように定める  
について再確認しました。  
① 本会の会長経験者に  
は、顧問として校友会  
の適正な運営に対する  
助言をお願いする。  
② 顧問は、本会のすべ  
ての会議に出席し発言  
する事が出来る。  
③ 顧問の人数は若干名  
とする。  
④ 以上を、校友会内規  
とする。  
⑤ 内規の発効は、平成  
十三年九月二日とする。

第三回理事会で関・平野  
両氏は顧問就任を諾とされ  
ましたが、今回は保留。

議題の三  
学校法人追手門学院の理

佐々・淵上・鶴・蟻柴・森・  
川端理事の以上十二名と委  
任状五通。

議題の一  
前回理事会での議題一を  
鶴毅・蟻柴潤一両評議員出  
席の上、再確認しました。  
(両氏の理事就任)

議題の二  
前回の理事会において、  
その申し出を、満場一致で  
再確認の上、決定しました。  
小坂井俊夫氏は第四代の  
会長に就任しました。

議題の五  
佐々進一理事に、副会長  
兼議長として活動して戴く  
事を確認し決定しました。  
なお、大橋陽一副会長は  
総務を兼務、下村忠功副会  
長には国際交流を含む事業  
を兼務して戴く事を確認、  
決定しました。

議題の四  
会長禪譲について。  
第三代会長佐藤良和氏は  
諸般の情勢を考え、会長を  
辞退し、次期会長として、  
小坂井俊夫氏を推挙する旨、  
第三回の理事会で申し出が  
ありました。

議題の六  
第二回の理事会で提案し、  
可決された「平成十三年度

事・評議員の推挙は適任者  
を当てる事を再度確認。

議題の四  
会長禪譲について。  
第三代会長佐藤良和氏は  
諸般の情勢を考え、会長を  
辞退し、次期会長として、  
小坂井俊夫氏を推挙する旨、  
第三回の理事会で申し出が  
ありました。

議題の五  
佐々進一理事に、副会長  
兼議長として活動して戴く  
事を確認し決定しました。  
なお、大橋陽一副会長は  
総務を兼務、下村忠功副会  
長には国際交流を含む事業  
を兼務して戴く事を確認、  
決定しました。

議題の四  
会長禪譲について。  
第三代会長佐藤良和氏は  
諸般の情勢を考え、会長を  
辞退し、次期会長として、  
小坂井俊夫氏を推挙する旨、  
第三回の理事会で申し出が  
ありました。

議題の五  
佐々進一理事に、副会長  
兼議長として活動して戴く  
事を確認し決定しました。  
なお、大橋陽一副会長は  
総務を兼務、下村忠功副会  
長には国際交流を含む事業  
を兼務して戴く事を確認、  
決定しました。

議題の六  
第二回の理事会で提案し、  
可決された「平成十三年度



消費収支予算 [平成13年度]

平成13年4月 1日から  
平成14年3月31日まで

平成13年9月2日決定

| 科 目               | 予 算 額      | 前年度決算額     | 差 異 | 適 要          |
|-------------------|------------|------------|-----|--------------|
| 収入の部              |            |            |     |              |
| 終 身 会 費           | 52,000,000 | 55,960,000 |     | 新入会員終身会費     |
| 受 取 利 息           | 2,000,000  | 1,530,540  |     | 予想利息         |
| 雑 収 入             | 0          | 90,055     |     |              |
| 大学周年事業寄付金         | 0          | 0          |     |              |
| 財団設立準備基金取崩し       |            |            |     |              |
| 収 入 の 部 合 計       | 54,000,000 | 57,580,595 |     |              |
| 支出の部              |            |            |     |              |
| 人 件 費             | 1,100,000  | 984,200    |     |              |
| 会 報 印 刷 費         | 2,500,000  | 1,530,320  |     | 年2回発行印刷費     |
| そ の 他 印 刷 費       | 500,000    | 1,569,892  |     | 便箋・封筒その他     |
| 通 信 費             | 8,000,000  | 7,801,055  |     | 会報発送その他      |
| 交 通 費             | 100,000    | 0          |     | 支部長会議旅費実費    |
| 消 耗 品 費           | 100,000    | 37,280     |     | ゴム印その他文具     |
| 会 議 費             | 50,000     | 35,100     |     |              |
| 賃 貸 料             | 20,000     | 214,000    |     |              |
| 慶 弔 費             | 200,000    | 31,500     |     |              |
| 名 簿 完 備 費         | 1,000,000  | 245,721    |     | 新入会員その他入力    |
| 雑 費               | 30,000     | 2,550      |     |              |
| 公 租 公 課           | 300,000    | 269,358    |     |              |
| 卒 業 記 念 品 代       | 8,500,000  | 8,469,000  |     | 賞牌(メダル)1500, |
| 学 友 会 活 動 援 助 費   | 500,000    | 500,000    |     | 合計275万円      |
| 大 学 祭 援 助 費       | 200,000    | 200,000    |     |              |
| 大 学 祭 行 事 参 加 費   | 0          | 0          |     |              |
| 支 部 設 立 準 備 費     | 100,000    | 0          |     | 北陸支部         |
| 支 部 援 助 費         | 200,000    | 0          |     | 4支部に対して      |
| 国 際 交 流 費         | 300,000    | 0          |     |              |
| 寄 付 金             | 0          | 1,097,250  |     |              |
| 予 備 費             | 300,000    | 0          |     | 事務局移転費用      |
| 財団設立準備基金繰入れ       | 30,000,000 | 34,843,159 |     |              |
| 支 出 の 部 合 計       | 54,000,000 | 57,580,595 |     |              |
| 当 年 度 収 支 差 額     |            |            |     |              |
| 前 年 度 繰 越 収 支 差 額 |            |            |     |              |
| 次 年 度 繰 越 収 支 差 額 |            |            |     |              |

### 貸借対照表

平成13年3月31日

| 校 友 会       |             | 単位 円        |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 資産の部        |             |             |              |
| 科 目         | 本年度末        | 前年度末        | 増 減          |
| 固定資産        | 330,280,000 | 330,280,000 | 0            |
| その他の固定資産    | 330,280,000 | 330,280,000 | 0            |
| 貸付信託（特定預金）  | 133,000,000 | 164,000,000 | △ 31,000,000 |
| 定期預金（特定預金）  | 197,280,000 | 166,280,000 | 31,000,000   |
| 流動資産        | 189,330,361 | 149,770,828 | 39,559,533   |
| 現金預金        | 189,330,361 | 149,770,828 | 39,559,533   |
| 資 産 の 部 合 計 | 519,610,361 | 480,050,828 | 39,559,533   |

| 負債の部     |            |            |             |
|----------|------------|------------|-------------|
| 科 目      | 本年度末       | 前年度末       | 増 減         |
| 流動負債     | 62,472,137 | 57,755,763 | 4,716,374   |
| 未払金      | 89,670     | 139,556    | 49,886      |
| 前受金      | 60,920,000 | 55,960,000 | △ 4,960,000 |
| 前受金      | 60,920,000 | 55,960,000 | 4,960,000   |
| 預り金      | 106,260    | 0          | 106,260     |
| 義援預り金    | 1,356,207  | 1,656,207  | △ 300,000   |
| 負債の部 合 計 | 62,472,137 | 57,755,763 | 4,716,374   |

| 基本金の部    |             |             |     |
|----------|-------------|-------------|-----|
| 科 目      | 本年度末        | 前年度末        | 増 減 |
| 財団設立準備基金 | 330,280,000 | 330,280,000 | 0   |
| 基本金の部 合計 | 330,280,000 | 330,280,000 | 0   |

| 消費収支差額の部       |             |            |            |  |
|----------------|-------------|------------|------------|--|
| 科 目            | 本年度末        | 前年度末       | 増 減        |  |
| 翌年度繰越 消費収入 超過額 | 126,858,224 | 92,015,065 | 34,843,159 |  |
| 消費収支差額の部 合 計   | 126,858,224 | 92,015,065 | 34,843,159 |  |

| 科 目                         | 本年度末        | 前年度末        | 増 減        |
|-----------------------------|-------------|-------------|------------|
| 負債の部、基本金の部及び<br>消費収支差額の部 合計 | 519,610,361 | 480,050,828 | 39,559,533 |

平成13年 6月15日

追手門学院大学 校友会 平成12年度決算  
会 計 監 査 報 告

公正なる監査の結果、別紙諸計算書は、平成12年4月1日より、  
平成13年3月31日までの校友会の保有する財産及び収支の状況を  
正しく示しているものと認め、ここにご報告いたします。

追手門学院大学校友会

監 事 佐々 進 一   
監 事 野 出 靖 宏 

## 資金収支計算書

平成12年4月 1日から  
平成13年3月31日まで

校 友 会

単位 円

| 収入の部        |             |               |               |
|-------------|-------------|---------------|---------------|
| 科 目         | 予 算         | 決 算           | 差 異           |
| 一般収入        | 56,100,000  | 56,050,000    | 50,000        |
| 会費収入        | 55,960,000  | 55,960,000    | 0             |
| 名簿収入        | 140,000     | 90,000        | 50,000        |
| 資産運用収入      | 2,000,000   | 1,530,540     | 469,460       |
| 受取利息配当金収入   | 2,000,000   | 1,530,540     | 469,460       |
| 雑収入         | 0           | 55 △          | 55            |
| 雑収入         | 0           | 55 △          | 55            |
| 前受金収入       | 0           | 4,960,000 △   | 4,960,000     |
| 前受金収入       | 0           | 4,960,000 △   | 4,960,000     |
| その他の収入      | 0           | 228,389,205 △ | 228,389,205   |
| 貸付借託からの繰入収入 | 0           | 31,000,055 △  | 31,000,055    |
| 定期預金からの繰入収入 | 0           | 197,280,000 △ | 197,280,000   |
| 預り金収入       | 0           | 109,150 △     | 109,150       |
| 前年度繰越支払資金   | 149,770,828 | 149,770,828   |               |
| 収入の部 合 計    | 207,870,828 | 440,700,628   | △ 232,829,800 |

| 校 友 会           |                  | 単位 円        |             |
|-----------------|------------------|-------------|-------------|
| 消費支出の部          |                  |             |             |
| 科 目             | 予 算              | 決 算         | 差 異         |
| 経費              | 28,534,200       | 22,737,436  | 5,796,764   |
| 雑 費             | 20,000           | 2,550       | 17,450      |
| 通 信 費           | 5,000,000        | 7,801,065   | △ 2,801,065 |
| 印 刷 費           | 2,700,000        | 1,569,892   | 1,130,108   |
| 人 件 費           | 1,100,000        | 984,200     | 115,800     |
| 会 報 印 刷 費       | 2,000,000        | 1,530,320   | 469,680     |
| 交 通 費           | 50,000           | 0           | 50,000      |
| 消 耗 品 費         | 100,000          | 37,280      | 62,720      |
| 会 議 費           | 100,000          | 35,100      | 64,900      |
| 慶 弔 費           | 50,000           | 31,500      | 18,500      |
| 名 簿 完 備 費       | 1,500,000        | 245,721     | 1,254,279   |
| 総 会 費           | 2,000,000        | 0           | 2,000,000   |
| 公 租 公 課         | 500,000          | 269,358     | 230,642     |
| 卒 業 記 念 品 代     | 8,500,000        | 8,469,000   | 31,000      |
| 学 友 会 活 動 援 助 費 | 2,500,000        | 250,000     | 2,250,000   |
| 大 学 祭 援 助 費     | 200,000          | 200,000     | 0           |
| 大 学 祭 行 事 参 加 費 | 1,200,000        | 0           | 1,200,000   |
| 支 部 設 立 準 備 費   | 100,000          | 0           | 100,000     |
| 支 部 設 立 援 助 費   | 200,000          | 0           | 200,000     |
| 国 際 交 流 費       | 500,000          | 0           | 500,000     |
| 賃 借 料           | 214,200          | 214,200     | 0           |
| 寄 付 金           | 0                | 1,097,250   | △ 1,097,250 |
| 〔予備費〕           | ( 0 )<br>100,000 |             | 100,000     |
| 消費支出の部 合 計      | 28,634,200       | 22,737,436  | 5,896,764   |
| 当年度 消費収入超過額     | 23,465,800       | 0           |             |
| 当年度 消費支出超過額     | 0                | 193,436,841 |             |
| 前年度繰越 消費収入 超過額  | 92,015,065       | 92,015,065  |             |
| 基本金取崩額          | 6,000,000        | 228,280,000 |             |
| 翌年度繰越 消費収入 超過額  | 121,480,865      | 126,858,224 |             |



## 近ごろ 思うこと

川端 敬三  
(経営十二期)

これは、一体、何なのだろう。そんな想いが、頭に浮かぶ。

突然、飛び込んできた、あの、ニューヨークの朝、高層ビルのドテッ腹に民間航空機がぶつかった。

煙と炎を上げる世界貿易センターを映すテレビの前で、よりによって、こんな事故が、と思った。

その後、二番機が突込み、ワシントンのペンタゴンに三番機が突撃したと告げるテレビの画面を、ただ呆然と見詰めていたように思う。

世界貿易センターのツイン・ビルにしろペンタゴンにしろ、その中で炎と煙に巻かれる人々、崩れ落ちた建物の下で押し潰された人たちの無念は、如何ばかり

であろうか。

そこまで考えが及ぶのに少しの時が必要な程、大きなショックを受けた。

紛れもない現実としてのテロリズムを目の当たりにしたときに、神も仏も無く、あるのは、人の心に住む、鬼というか悪魔というか、そんな邪悪なものだけだ、と強く思った。

私が、死について考えるとき、古い、病(やまい)、事件、事故を思い浮かべる。天災や戦争などはなかなか想いの及ばぬところである。しかし、今現在、テロリズムという人間の心の悪鬼、悪魔の所業が、世界中に、不安と死を振りまいている。しかも、それは加速度的に増大しているように、思われる。

自らの思いが、通じないからと言って、こும்軽々しく人の命を奪い去る。その事を、悪鬼、悪魔の所業と言わずして何と呼べば良いのであろうか。

人は太古の時代から食料、

女性、なわばりなどを奪い合い互いに殺戮を繰り返し、愚かな戦争を重ねてきた。

野生の獣、動物ですら、同種を死に至らしめる事は少ないと聞いている。

テロリストは一体全体、何が欲しいのか。過去の遺恨を引き摺って、ただただ果てしなく殺戮を繰り返す

ことが望みなものであろうか。分けもわからずに、生きる時を奪われ、亡くなった人たちのことを、どう考えているのか。多分、そんなことを考えることさえ、かなわない何かが、テロを行う彼らの心の中に、巣くいて、住みついていいるのかも知れない。

生まれてから、このかた、戦火の止むことがなかった国に生き、悪鬼悪魔の思いのままにしか、生きる道を見い出し得なかったからであらうか。その人々の心の中から、悪鬼悪魔を如何にして無く

せるのか。

生まれてから戦争を知らない平和ボケの私たちは、一体なにをすればよいのか。

世界には食料の足りない国が数多く、住居も無い人々の多い国もある。その一方で、近代的合理主義で育てられた牛たちがプリオンに侵され大量に野焼きされている。

人間は、どこまで行こうとしているのか。何を何処に置き忘れてきたのか。

人間はあらゆる傲慢さを捨て去り、謙虚さを持ち、冷静に、自然や他の人たちの話に耳を傾けるべきではないだろうか。

人類は歴史の進歩を止めてでも、脚下照顧、足元を見つめ直す必要があるのではないだろうか、と切実に考えている。

湧き出る想いを、綴っただけの文章を、校友会会報に掲載して戴く光栄を感じながら、筆を止めます。

## 編集後記

朝夕、めっきりと涼しくなりました。

世間では何かと大変な事件や事故が頻発しています。誠に嘆かわしい次第です。

しかし、私も一般市民としては、日常生活でより注意して物事を行うぐらいしか、手立ては無いと思います。

今年のホームカミング・デー。日々の煩わしさから離れ、母校の自然に囲まれ思い出を語り合いませんか。これからは校友会の事を会員の皆様とご一緒に考え行動していきたいと願っています。

ご意見、ご近況などを、お寄せ下さい。(編集子)

## お・願・い

ご住所・ご氏名・勤務先の変更は、ハガキを、校友会事務局へ必ずお送り下さい。